

# 日医ニュース

2019. 3. 5 No. 1380

**日本医師会**  
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16  
電話 03-3946-2121(代)  
FAX 03-3946-6295  
E-mail www.jma.or.jp  
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)



**トピックス**

- 定例記者会見 ..... 2面
- 「医療基本法の制定にむけた議員連盟」が発足 ..... 3面
- 韓国医師会調査団との意見交換会を実施 ..... 4面

## 医療政策シンポジウム2019 医師の地域偏在



「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。

# 医療政策シンポジウム2019 「医師の地域偏在」をテーマに開催

当日は、中川俊男副会長の司会で開会。冒頭あいさつした横倉義武会長／世界医師会(以下、WMA)前会長は、昨年7月に、医師確保、医師偏在対策に係る医療法及び医師法の一部が改正されたことに触れ、対策

の執行に当たっては、国から地域に対して、丁寧な説明と的確な情報提供を徹底することが重要だとし、日医としても地域医療を守る立場から積極的に関わっていくとした。また、2月上旬に北海道紋別市を訪れ、医療機

師がおらず、出産や高度的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病のない状態や病弱ではない」というWHOの健康の定義を再確認し、Health for All in the year 2000を提唱したものであると説明。また、昨年10月にカザ

フスタンのアスタナで開催されたPHCに関する国際会議で採択されたアル・マアタ宣言について、「健康とは身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病のない状態や病弱ではない」というWHOの健康の定義を再確認し、Health for All in the year 2000を提唱したものであると説明。また、昨年10月にカザ

「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。

「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。

「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。

医療が必要な場合は約60キロメートル離れた北見市の病院に運んでいることなど、現状を説明。「地域偏在を考えると、何らかの仕組みによる適正な医師の配置、専門診療科がない地域における総合診療医の在り方となり、講演に移った。

「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。

「医療政策シンポジウム2019」が2月13日、「医師の地域偏在」をテーマとして日医会館大講堂で開催され、地域偏在解消に向けた方策について活発な意見交換が行われた。  
参加者は、27道府県医師会のテレビ会議システムでの視聴者を含めて、合計436名であった。



クロイバー氏

講演1 「Physician-led Primary Care in the light of Global Primary Health Care Policy And the Astana Declaration of 2018」

オトマー・クロイバー WMA事務総長は、まず、1978年にプライマリヘルスケア(PHC)に関する国際会議で採択されたアル・マアタ宣言について、「健康とは身体的・精神的・社会的に完全に良好な状態であり、単に疾病のない状態や病弱ではない」というWHOの健康の定義を再確認し、Health for All in the year 2000を提唱したものであると説明。また、昨年10月にカザ

講演2 「人口減少日本で医療に起きること」

ジャーナリストの河合雅司氏は、「出生数と合計特殊出生率の推移」や「出生年齢の女性数」等の資料を基に、今後、出生数の大幅回復の望みは薄いとするとともに、2043年以降は高齢者が減少に転じて人口激減期に入ることから、極めて人口の少なくなる地域で生活社会を機能させることができるのかを疑問視した。

また、高齢社会の4大特徴として、①高齢化する高齢者の女性高齢者の増加②一人暮らし高齢者の増加③貧しい高齢者の増加④貧しい高齢者の増加を挙げ、医師の高齢化や疾病構造の変化など、医療を取り巻く環境も激変するとした。

更に、医療・福祉就業者の数の見通しの甘さや、家族や支え手がいらないために地域包括ケアが機能しない地域が出てくることにも懸念を示し、逆転の発想の下で「戦略的に縮む」という成長モデルとして、まちそのものをコンパクト化し、医療と共に暮らしていくという地域モデルづくりによる偏在の解消を提案した。

講演3 「わが国の医療が直面する課題—医師の地域偏在・診療科偏在と総合診療—」

福井次矢聖路加国際大医学長は、(1)わが国の医療の課題—OECDによる評価等、(2)地域偏在・診療科偏在—現状と厚生労働省の対策案、(3)求められる総合診療医、(4)総合診療への障害と展望—について説明した。

(1)では、「社会保障を確立すること」や「専門研修開始時に(入り口で)、診療科ごとの上限を設定すること」等を提案した。

(2)では、プライマリケアを担える医師について、米国の研究結果等を示しつつ、その有用性を示した。

その後、武田俊彦厚生労働省政策参与が座長を務め、3名の演者に横倉会長が加わった4名によるパネルディスカッションが行われた。

議論の中で横倉会長は、「地方で働く医師をサポートするDoctor to Doctorのオンライン診療や、第一線を退いた後に地方で働ける環境づくり等も考えていく必要がある」と述べるとともに、「歴史的に見ても、地域医師会が地域でのネットワークをつくり上げてきた。その存在意義を再認識し、地域医師会が中心となって、各地域のグラウンドデザインを考えて欲しい」とした。

その他、「高齢化や医師の偏在といった問題は日本だけの話ではない。フランスなどでは、郊外に二つ目のオフィスを構え、ローテーションを組んで、週のうち何日か仕事をするような形もある」とクローバー氏が「点在する患者を集ませ、暮らしの延長線上に医療がある形をつくるため、CRC(Continuing Care Retirement Community: 継続的なケア付きの高齢者達の共同体)といった住宅政策の検討も必要ではないか(河合氏)」「経済的なインセンティブといった評価の仕組みも必要だが、地域で働くのがいやや公衆衛生的視点を若いうちからマインドセットとして植えつけることができるかが最も重要ではないか(福井氏)」などの意見が出された。

最後に、中川副会長が、「人口減少や高齢化といった課題も多いが、医療を資源の量に合わせるのではなく、例えば驚異的に進む技術革新等の力も借りて、皆で創意工夫し、明るい未来を切り開いていきたい」と総括し、盛会裏に終了となった。

なお、本シンポジウムの記録集は、電子書籍(日医Lib)及び日医ホームページ上で、6月頃を目途に公表する予定。

講演2 「人口減少日本で医療に起きること」

ジャーナリストの河合雅司氏は、「出生数と合計特殊出生率の推移」や「出生年齢の女性数」等の資料を基に、今後、出生数の大幅回復の望みは薄いとするとともに、2043年以降は高齢者が減少に転じて人口激減期に入ることから、極めて人口の少なくなる地域で生活社会を機能させることができるのかを疑問視した。

また、高齢社会の4大特徴として、①高齢化する高齢者の女性高齢者の増加②一人暮らし高齢者の増加③貧しい高齢者の増加④貧しい高齢者の増加を挙げ、医師の高齢化や疾病構造の変化など、医療を取り巻く環境も激変するとした。

更に、医療・福祉就業者の数の見通しの甘さや、家族や支え手がいらないために地域包括ケアが機能しない地域が出てくることにも懸念を示し、逆転の発想の下で「戦略的に縮む」という成長モデルとして、まちそのものをコンパクト化し、医療と共に暮らしていくという地域モデルづくりによる偏在の解消を提案した。

講演3 「わが国の医療が直面する課題—医師の地域偏在・診療科偏在と総合診療—」

福井次矢聖路加国際大医学長は、(1)わが国の医療の課題—OECDによる評価等、(2)地域偏在・診療科偏在—現状と厚生労働省の対策案、(3)求められる総合診療医、(4)総合診療への障害と展望—について説明した。

(1)では、「社会保障を確立すること」や「専門研修開始時に(入り口で)、診療科ごとの上限を設定すること」等を提案した。

(2)では、プライマリケアを担える医師について、米国の研究結果等を示しつつ、その有用性を示した。

その後、武田俊彦厚生労働省政策参与が座長を務め、3名の演者に横倉会長が加わった4名によるパネルディスカッションが行われた。

議論の中で横倉会長は、「地方で働く医師をサポートするDoctor to Doctorのオンライン診療や、第一線を退いた後に地方で働ける環境づくり等も考えていく必要がある」と述べるとともに、「歴史的に見ても、地域医師会が地域でのネットワークをつくり上げてきた。その存在意義を再認識し、地域医師会が中心となって、各地域のグラウンドデザインを考えて欲しい」とした。

その他、「高齢化や医師の偏在といった問題は日本だけの話ではない。フランスなどでは、郊外に二つ目のオフィスを構え、ローテーションを組んで、週のうち何日か仕事をするような形もある」とクローバー氏が「点在する患者を集ませ、暮らしの延長線上に医療がある形をつくるため、CRC(Continuing Care Retirement Community: 継続的なケア付きの高齢者達の共同体)といった住宅政策の検討も必要ではないか(河合氏)」「経済的なインセンティブといった評価の仕組みも必要だが、地域で働くのがいやや公衆衛生的視点を若いうちからマインドセットとして植えつけることができるかが最も重要ではないか(福井氏)」などの意見が出された。

最後に、中川副会長が、「人口減少や高齢化といった課題も多いが、医療を資源の量に合わせるのではなく、例えば驚異的に進む技術革新等の力も借りて、皆で創意工夫し、明るい未来を切り開いていきたい」と総括し、盛会裏に終了となった。

なお、本シンポジウムの記録集は、電子書籍(日医Lib)及び日医ホームページ上で、6月頃を目途に公表する予定。

講演3 「わが国の医療が直面する課題—医師の地域偏在・診療科偏在と総合診療—」

福井次矢聖路加国際大医学長は、(1)わが国の医療の課題—OECDによる評価等、(2)地域偏在・診療科偏在—現状と厚生労働省の対策案、(3)求められる総合診療医、(4)総合診療への障害と展望—について説明した。

(1)では、「社会保障を確立すること」や「専門研修開始時に(入り口で)、診療科ごとの上限を設定すること」等を提案した。

(2)では、プライマリケアを担える医師について、米国の研究結果等を示しつつ、その有用性を示した。

その後、武田俊彦厚生労働省政策参与が座長を務め、3名の演者に横倉会長が加わった4名によるパネルディスカッションが行われた。

議論の中で横倉会長は、「地方で働く医師をサポートするDoctor to Doctorのオンライン診療や、第一線を退いた後に地方で働ける環境づくり等も考えていく必要がある」と述べるとともに、「歴史的に見ても、地域医師会が地域でのネットワークをつくり上げてきた。その存在意義を再認識し、地域医師会が中心となって、各地域のグラウンドデザインを考えて欲しい」とした。

その他、「高齢化や医師の偏在といった問題は日本だけの話ではない。フランスなどでは、郊外に二つ目のオフィスを構え、ローテーションを組んで、週のうち何日か仕事をするような形もある」とクローバー氏が「点在する患者を集ませ、暮らしの延長線上に医療がある形をつくるため、CRC(Continuing Care Retirement Community: 継続的なケア付きの高齢者達の共同体)といった住宅政策の検討も必要ではないか(河合氏)」「経済的なインセンティブといった評価の仕組みも必要だが、地域で働くのがいやや公衆衛生的視点を若いうちからマインドセットとして植えつけることができるかが最も重要ではないか(福井氏)」などの意見が出された。

最後に、中川副会長が、「人口減少や高齢化といった課題も多いが、医療を資源の量に合わせるのではなく、例えば驚異的に進む技術革新等の力も借りて、皆で創意工夫し、明るい未来を切り開いていきたい」と総括し、盛会裏に終了となった。

なお、本シンポジウムの記録集は、電子書籍(日医Lib)及び日医ホームページ上で、6月頃を目途に公表する予定。

日医 定例記者会見

2月13日

平成31年度診療報酬改定の「答申」を受けて



担当が増加することから、平成26年度改定と同様に、基本診療料に点数を上乗せすることを中心に対応する。(4)平成26年度改定の対応では補てん不足が判明したため、可能な限り実態を踏まえ、たきめ細やかな配分を、課税経費率や医療費シェア等を活用して精緻に行う。(5)消費税率が5%から8%に引き上げられた際の対応をいったんリセットし、5%から10%への対応を行う—ことを等々説明した。

その上で、非課税である社会保険診療と消費税の関係について、医療機関は仕入れ等でコストを支払う時に消費税を負担しており、増税に伴って必要となるコストの補てんが診療報酬に上乗せされているが、公聴会でもその周知の必要性が指摘される状況であることから、国民に理解されるように積極的にPR・周知を行うよう、国へ要望。

松本吉郎常任理事は、2月13日に都内で開催された中医協総会で、10月の消費税率引き上げに伴う平成31年度診療報酬改定に関する答申がまとまり、田辺国昭中協会長(東京大学大学院法学政治学研究所教授)から根本匠厚生労働大臣(代理解・大口善徳厚労副大臣)に提出されたことを受け、今回の改定に対する日医の考えを説明した。

同常任理事はまず、改定の概要として、(1)本体改定率はプラス0.41%であり、改定財源約4700億円のうち医療は約4000億円とされ、(2)薬価・材料価格改定については、適正な消費税の転嫁を行う観点から市場実勢価格を踏まえて行うものであり、通常改定とは異なる臨時的な改定という位置づけである、(3)医療機関の仕入れに係る消費税負

方であるものの、過去に個別の診療項目に上乗せした結果、検証不可能な状態になったため、できる限りシンプルで、分かりやすく、広く薄く公平に上乗せするのが望ましいということ、基本診療料に代表させることになった経緯を紹介。診療報酬への上乗せで対応する限り、全体的に納得してもらえない上乗せはできないことに理解を求めた。

また、同常任理事は(4)について、平成元年度改定以降、長年、補てんが十分であるか否かについて、検証に基づいた見直しが行われていないことから、医療界には不信感や不満があったとした上で、「平成が終わろうとしている中、ようやくきめ細やかな配分と継続的な検証ルールができたことは、遅きに失する感はないが、このルールによって、

また、同常任理事は、同法改正について検討がなされていることなど、政府等の対応を説明。児童相談所への児童虐待の疑いの通告件数が年々増加している中で、その対応能力の強化が喫緊の課題であるとした。

児童虐待防止に関する日医の見解について



平川俊夫常任理事は、千葉県野田市で起きた児童虐待死亡事件を受けて日医の見解を示した。

同常任理事はまず、今回の事件について、「児童相談所が虐待のリスクを認識していながら、昨年3月の目黒区での児童虐待死亡事件の教訓が生かせなかったことは大変遺憾である」と述べた。

その上で、(1)国連の子どもの権利委員会が日本政府に対し、子ども虐待対策の強化を勧告した、(2)政府はその翌日、児童虐待防止対策に関する関係閣僚会議を開き、新たな対策として、現在把握している全ての虐待ケースの1カ月以内の緊急安全確認等の新たなルールや威圧的な保護者に対する複数機関での共同対応ルールの設定するとともに、児童虐待防止対策体制強化プランに基づき、児童福祉司を来年年度に約1000人増員するなどの体制的抜本的強化に取り組むよう、厚生労働省を始め、各府県庁に対して指示をした。

(3)現行の児童福祉法において児童相談所には医師または保健師を配置するとされているが、現在、厚労省では、児童相談所の体制整備の推進として、全ての児童相談所に医師を配置することを

また、同常任理事は、「今後は児童相談所が医学的な知見を踏まえて対応できるような体制の強化が求められていること」から、意思決定において日常的に医師が関与し、対応できるような体制整備など、医師の役割の明確化も必要である」と強調。地域における児童虐待の予防や早期発見・早期対応のためには、医師、医師会の積極的な関与や周辺の医療機関の協力を求めることも重要であり、医師・保健師・社会福祉士等の専門家が、その対応能力の向上のために自治体や学会などが開

第144回日本医師会臨時代議員会 次第

日時 平成31年3月31日(日) 午前9時30分
場所 日本医師会館
東京都文京区本駒込2丁目28番16号

- 1. 開 会
1. 会長挨拶
1. 報 告
平成31年度日本医師会事業計画及び予算の件
1. 議 事
第1号議案 平成30年度日本医師会会費減免申請の件
第2号議案 裁定委員補欠選任の件
1. 閉 会

催している研修へ参加するとともに、医師会との協力を推進していく必要があるとの考えも示した。更に、日医の児童虐待防止に関する取り組みとして、2006年の「子ども支援日本医師会宣言」において、「虐待の予防と早期発見を掲げ、2011年から国民への児童虐待防止の啓発活動の一環として、医師・弁護士その他、一般市民・児童養護施設関係者・児童福祉関係者・保健師・学校教職員等を対象とした『子育て支援フォーラム』を全国で開催していることを報告。

本フォーラムの主な内容は、「児童福祉の観点から、子ども家庭と社会的養護の現状と課題」「市町村における虐待予防の取り組み」「精神科医療からの虐待予防と対応」「周産期医療からの虐待予防」などであり、次回は3月23日に栃木県での開催を予定していることを紹介した。また、昨年12月に成立した成育基本法において、母子保健や児童福祉分野の連携強化をうたい、「防げる死」を防ぐ体制の整備と支援強化を今後期待される政策の一つとしていることに触れ、日医として児童虐待防止に向けた政策提言を今後も引き続き積極的に行っていくとした。

# 「医療基本法の制定にむけた議員連盟」が発足

## 事務局長には 羽生田参議院議員が就任



る側とで、それぞれ10年以上にわたって議論が行われ、時にはぶつかることもあったが、今は医療基本法を制定するという方向で一致している」とした上で、「国民目線の医療という考え方で、医療基本法を制定したい」と意欲を示した。

引き続き、患者団体等に続いてあいさつを行った横倉会長は、「医療提供者と患者との関係を議論する際に、基本となる法律が必要ではないかという点で、医療基本法の制定を求めることになった。医療提供者と患者は対立構造で捉えられがちであるが、本来、闘うべきは病気やけがである。患者が闘い、それをいかに医療提供者がサポートしていくかという観点から、この法律がしっかりとしたものになればと考えている」と述べ、出席議員に協力を求めた。

続いて平川常任理事が日医における検討の経緯や基本的な考え方を説明した。

同常任理事は、「医療基本法は、憲法によって定められている生存権や幸福追求権等と医療法や医師法といった個別法を

総勢80名を超える超党派の国会議員で組織する「医療基本法の制定にむけた議員連盟」が設立されることとなり、その設立総会が2月6日に都内で開催され、日医からは横倉義武会長、平川俊夫常任理事、畔柳達雄参与が出席した。

日医ではこれまで、会内の医事法関係検討委員会が平成26年3月に「医療基本法」の制定に向けた具体的提言（最終報告）をまとめた後、平成28年7月には「医療基本法（仮称）」にもとづく

引き続き、事務局長に就任した羽生田俊参議院議員が、議員連盟発足の趣旨等を説明した。

羽生田事務局長は、「医療の提供側と医療を受け

### お知らせ



第7回「日本医師会 赤ひげ大賞」の受賞者の日頃の活動と、3月15日に開催される表彰式の模様や受賞者の日常の奮闘ぶりを紹介する特集番組がBSフジで放映されます。

番組名：「密着！ かかりつけ医たちの奮闘～第7回赤ひげ大賞受賞者～」  
日時：3月23日（土）午後2時～（55分）

なお、表彰式の模様は本紙第1383（4月20日）号でも詳報するとともに、今回の受賞者を紹介した冊子を『日医雑誌』5月号に同梱する予定です。併せてご覧下さい。 日医広報課

### 特別寄稿

## 多重がんとは何か、そして普段どのように精査を考えるのか

国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 下井 辰徳、藤原 康弘

1人の患者が、複数の臓器がん罹患していることを「多重がん（または重複がん）」と呼びます。特に、初回のがんの診断から2～6カ月以内の同時期に診断された多重がんは、2～17%の頻度とされています<sup>(1)</sup>。

通常、がんが診断された患者が転移性ではない新たな別の部位のがんに罹患する確率は、患者にリスク因子がなければ一般的な確率と同じであるため低い確率になります。そのため、多重がんを疑うべき患者は、複数の臓器にわたる発がんリスク因子を保有している患者（右表参照）となります。特に遺伝性腫瘍の場合には、特徴的ながん種の組み合わせでの発症が、疑うポイントになります。

がん患者と面談する際には、そのがんのリスク因子と共通する他のがんがないかどうかについて、詳細な病歴聴取及び診察に基づいて、精査の追加を検討頂くよう、お願いいたします。

参考文献：

- 1) ESMO Open. 2017 May 2; 2(2): e000172.
- 2) Ann Oncol. 2012 May; 23(5): 1362-9.

表 代表的ながんリスク因子と複数臓器のがんの例 (参考文献1, 2)を基に作成)

	リスク因子	頻度が上昇するがん種
生活習慣	喫煙	口腔がん、咽頭喉頭がん、食道がん、胃がん、結腸直腸がん、肝臓がん、膵臓がん、子宮頸がん、卵巣がん、膀胱がん、腎臓がん、白血病
	アルコール	口腔がん、咽頭がん、食道がん、結腸直腸がん、肝臓がん、乳がん
環境因子	HPV感染	口腔がん、咽頭喉頭がん、肛門がん、陰茎がん、外陰がん、膣がん、子宮頸がん
患者の因子 (遺伝性腫瘍)	遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (BRCA1, BRCA2)	乳がん、卵巣がん、前立腺がん、悪性黒色腫 特徴的な組み合わせ：同時性両側または異時性乳がん、乳がんと卵巣がん、前立腺がんと膵臓がん、または悪性黒色腫
	リンチ症候群 (ミスマッチ修復遺伝子)	結腸直腸がん、子宮体がん、卵巣がん、胃がん、尿路系腫瘍、小腸がん、膵臓がん、胆道がん 特徴的な組み合わせ：結腸がんと子宮体がん、結腸がんと卵巣がん

# 韓国医師会調査団との 意見交換会を実施



韓国医師会調査団一行と

デイリッジ・チョイン・韓国医師会会長を団長とした調査団一行が1月31日、日医会館を訪れ、成育基本法や健康寿命の延伸、地域包括ケアの推進等について横倉義武会長らと意見交換を行った。

日医からは横倉会長、道永麻里常任理事の他、鈴木邦彦前常任理事が出席した。

意見交換会は、横倉会長とあいさつで開会。横倉会長はあいさつの中で、昨年11月1日に開催された日本医師会設立記念・医学大会等への参加に謝意を示すとともに、世界医師会(WMA)前会長の立場から、WMAのさまざまな活動に対する協力について感謝の言葉を述べた。

また、これまで韓国の保健大臣や世界医師会会長を歴任したティ・ジュン・ムン韓国医師会名誉会長やCMAAの議長、WMA理事を歴任したドン・チュン・シン氏らを通じて、友好・協力関係を育んできたことに触れ、「チョイ会長の下、この関係を更に深めていきたい」とした。

あいさつ後、事前に同調査団から要望のあった項目等について横倉会長と鈴木前常任理事が講演を行った。

まず、横倉会長が、「成育基本法について」をテーマに説明。「次代の社会を担う成育過程にある者の個々の尊厳を重んじ、全ての妊婦、子どもに妊娠前から成人期までの切れ目のない医療・教育・福祉を提供する」という同法の理念や、会内の「周産期・乳幼児保健検討委員会」が答申を取りまとめたから平成30年12月に同法が成立するまでの経緯等を時系列に沿って説明するとともに、同法成立の意義を強調した。

講演終了後の意見交換では、韓国調査団から多数の質問が寄せられた。まず、ソン・ジョン・ギョン韓国医師会常任理事からの、地域包括ケアが広がる中で健康保険ではカバーできない部分への対応に関する質問には、鈴木前常任理事が回答。要介護度3以上の人に医療と介護を同時に提供する必要があるとした他、軽度者に対しては地域の中で支援するだけでなく、介護予防を推進し、医師にも予防や健康増進に寄与してもらうことが重要との考えを示した。

また、地域における介護予防の活動に本当に参加して欲しい人ほど参加率が低い現状がある点も、同時に、参加してもらうための工夫が求められるとした。

ヒョン・ウ・パク韓国医師会政策特別委員会分科会長のほか、大学病院等を受診する患者が多過ぎることへの対応策を問う質問には、横倉会長が、日本も同様の問題を抱えており、紹介状なしで大病院を受診する場合等に定額負担を導入したことを紹介するとともに、日医として国民にかけつけ医をもつことを呼び掛けているとした。

ホン・ジュン・パク韓国医師会副会長からの、国医師会副会長からの、患者が大病院から地域に戻ってきた際の連携体制の在り方についての質問

また、これまで韓国の保健大臣や世界医師会会長を歴任したティ・ジュン・ムン韓国医師会名誉会長やCMAAの議長、WMA理事を歴任したドン・チュン・シン氏らを通じて、友好・協力関係を育んできたことに触れ、「チョイ会長の下、この関係を更に深めていきたい」とした。

あいさつ後、事前に同調査団から要望のあった項目等について横倉会長と鈴木前常任理事が講演を行った。

まず、横倉会長が、「成育基本法について」をテーマに説明。「次代の社会を担う成育過程にある者の個々の尊厳を重んじ、全ての妊婦、子どもに妊娠前から成人期までの切れ目のない医療・教育・福祉を提供する」という同法の理念や、会内の「周産期・乳幼児保健検討委員会」が答申を取りまとめたから平成30年12月に同法が成立するまでの経緯等を時系列に沿って説明するとともに、同法成立の意義を強調した。

鈴木前常任理事は、「健康寿命の延伸と地域包括ケアの推進について」をテーマに説明。日医の組織や日本の医療制度の特徴を概説した上で、健康寿命の延伸に向けた国や日医の取り組みとして、地域包括ケアシステムの現状や、日医がかかりつけ医を中心とした医療提供体制の構築を進めていることなどを紹介した。

## 「くまモン」に思う

第55回九州首市医師会連絡協議会が1月19日に熊本市内で開催され、在宅医療・地域医療構想調整会議などについて活発な議論が戦わされた。

懇親会では、来た賓として出席された蒲島郁夫熊本県知事のあいさつに合わせ、パフォーマンスを繰り広げ、満場の拍手を浴びていた。

また、会議の参加者には白衣姿の「くまモン」がデザインされたピンバッジが配布された。勤め



この「くまモン」が、熊本地震の際に被災後一時的な活動を再開したと聞く。望むべくは、医師会が災害時に派遣するJMA

以外として初めて取り上げられ、大変な反響と聞いていたため、タイムリ

に思っています。意外に派手さはなく親しみやすさを感じる。これは、日本医師会のキャラクター「日医君」に応用しても良いかも知れないと勝手に考えてしまった。

この「くまモン」が、熊本地震の際に被災後一時的な活動を再開したと聞く。望むべくは、医師会が災害時に派遣するJMA

望まれる。

望まれる。

望まれる。

望まれる。

望まれる。

望まれる。

望まれる。

## ご活用下さい!

スマートフォンの画面を乳幼児に見せたり、使わせたりする保護者が増えている中で、その依存や発達への影響について注意喚起した『健康ぶらざ』を、本紙に同梱しています。待合室に掲示するなど、ぜひ、ご活用願います〔本紙9面。日医ホームページ (<http://www.med.or.jp/people/plaza/>) からダウンロード可能〕。

なお、『健康ぶらざ』は、現在、年18回(偶数月に2回、奇数月に1回)発行しておりますが、本年4月より、月1回(日医ニュース5日号)の発行となります。あらかじめご承知おき下さい。

日医広報課

健康ぶらざ No.516

乳幼児のスマートフォン使用  
依存や発達への影響について注意喚起

乳幼児でもスマホ依存? 18%  
発達への影響を考えよう 32%

# 南から北から

兵庫県  
姫路市医師会報  
No.399より  
**地獄で仏様!?**  
二宅 良平

「地獄で仏様」という  
ただならぬタイトルです  
が、地獄について述べる  
よりも、旅先で出会った  
仏様について述べること  
にします。

8月に例年のごとく、  
義弟の禅寺を訪れるため  
高知に向かいました。覚  
悟はしていたのですが、  
山陽自動車道の岡山付近  
で大渋滞。やむなく山陽  
道を降りて国道沿いに進  
むことにしました。

郊外まで走ったところ  
で急に愛車がエンジン、  
運転中に急にハンドルが  
ロックされ、コントロール  
不能となりました。

高速道路や高知道の山  
道でエンジンすると大事  
故につながりかねず、今  
思い出してもぞっとしま  
す。

何とか車を路肩まで移  
動させたものの、真っ昼  
間の猛暑の中、気温は優  
に35度は超えています  
た。80歳を超えた祖父母  
も一緒に、それこそ命の  
危険を感じるほどの暑さ  
でした。

途方に暮れていたその  
時、路肩沿いの民家の方  
が声を掛けて下さいまし

「JAFが来るまで応  
接間で休憩して下さい。  
留守にするから自由に家  
をお使い下さい」と驚く  
ほどの親切な申し出で、  
お茶菓子まで頂戴しまし  
た。その隣のお宅からは、  
自家製のスイカの差し入  
れまで頂きました。

地獄で仏様にお会いし  
たような思いで、今でも  
感謝の気持ちでいっぱい  
です。

自分では慣れているつも  
りでした。  
終日のオプショナルツ  
アーに参加しましたが、  
あいにくの雨天で立ち往  
生が続き、ツアーが終わ  
ったのは深夜12時を回っ  
ていました。

ホテルの迎えが来る予  
定でしたが、いくら待っ  
ても迎えが来ません。と  
うとう、アラスカの荒野  
の中でたった一人取り残  
されてしまいました。仕  
方なく西も東も分からな  
いまま、暗闇の中をどほ  
とほ歩き始めました。

熊に襲われないかと恐  
る恐る歩いて約1時間経  
った頃、遠くから車が1  
台こちらに走ってきまし  
た。大きく手を振って助  
けを求めました。

その車には別のホテル  
で働いている若者が数人  
乗っていて、帰宅途中と  
のことでした。事情を話  
して助けを求めたところ、  
快くホテルまで私を  
運んでくれました。

あのまま歩き続けてい  
たらどうなっていたこと  
か、今でもぞっとします。  
助けてくれた若者グルー  
プは、私にとってまさに  
地獄で出会った仏様のよ  
うなありがたい存在とな  
りました。

2003年8月14日夕  
方にニューヨーク(以下、  
NY)で大停電が起こり  
ました。ちょうどその時  
家族でNYのホテルに滞  
在していました。40階近  
くの部屋にいましたが、  
もちろんエアコンやエレ  
ベーターはストップして  
いました。40階近くを徒  
歩で上ったり下りたりで  
大変でした。

2001年1月にテロ  
事件が起こったこともあ  
り、お互いに助け合う気  
持ちはNYでは強かった  
と思います。どのホテル  
でもロビーを開放し、飲  
み物や軽食・果物を宿泊  
客に限らず、通行人にも  
提供していました。忘れ  
ないと思う今日この頃で  
す。

国内だと何とか乗り切  
れそうでも、国外旅行に  
なるとどうしたものかと  
自信はなくなりつつあり  
ます。日本を再発見すべ  
く、国内旅行に出掛け  
たいと思ひ出になりました。  
こうした万休すと感  
じた思い出の方が、かえ  
って記憶に残るものです  
るだけ避けたくありません  
た。

「旅先で役に立たない  
医師免許」  
江田明日香

昨年のゴールデンウィ  
ークに、家族で石垣島へ  
出掛けました。青い海と  
南島らしい湿った風に囲  
まれて、海で遊んだり街  
を散歩して楽しんでいま  
した。

旅行3日目の朝のこ  
と。旅疲れが出たのか、  
次男(5歳)が腹痛を訴  
え始めました。

次男はもともと体調が  
悪くなると嘔吐が止まら  
ないケトン血症嘔吐症疑  
いの体質……何度か点滴  
経験があります。これは  
まずい予感……そして予  
感はその通り、嘔吐し始め  
ました。

島内の市街地から車で  
40分ほどの静かな地区に  
滞在中、周囲の景色が  
悪くなるにつれて、嘔吐  
が止まらなくなりました。  
嘔吐し、横に倒れた小児科  
医(母親の私)は見守る  
ことしかできませんでし  
た。

日が沈む頃には尿も少  
なく、ぐったりして、こ  
のまま夜を越すのは危な  
い気がしました。電波  
がつかない場所まで移動  
してスマートフォンで病  
院を検索、市街地にある  
県立病院の救急を受診す  
ることになりました。

日中車で遊んでいた長  
男と夫には留守番をして  
もらい、私一人で活気不  
良の次男を車に乗せて受  
診することになりました。  
既に外は真っ暗、慣れ  
ないレンタカーとカーナ  
ビ頼りの不安な運転で  
す。ほとんど街灯も信号  
もない道で対向車も数少  
なく、ヘッドライトだけ  
が道を照らします。時々  
道の真ん中に大きなオカ  
ガニやカエルがいて、そ  
れをうまくかわしながら  
の危険な運転が続きまし  
た。

40分ほどで病院に到着  
し、経過や自分の職業を  
話して、血液検査と補液  
をしてもらうことになり  
ました。血糖値54、入院  
を迷うくらい立派な代  
謝性アシドーシスでした。  
補液を開始すると次男  
の顔色はみるみる良くな  
り、眠り始めました。

数時間の点滴中、私は  
とうとう、やっぱり救急  
って親にとっては本当に  
ありがたいなと思いが  
ら、混雑する「離島小児  
科救急の待合」を患者目  
線で観察して過ごしまし  
た。

帰り道、再びオカガニ  
を避けながらのドライヴ  
になりました。  
翌朝から次男は見違え  
るほど元気復活、昼に  
はバスター入前をペロリ  
と食べました。

想定外の病院受診に泣  
いた旅のリベンジを果た  
すべく、今年の連休もま  
た石垣島へ行くこと決め  
ました。

長男の話によると、地  
面から垂直に伸びる登り  
棒でてっぺんまで行った  
ところで、Tシャツが遊  
具に引っかかり、それを  
外そうとしたら手が滑っ  
て地面まで落ちたとのこと  
です。

まさか骨折!? 内心ヒ  
ヤヒヤしながら、ひとま  
ず歩けることを確認して  
宿へ戻りました。  
ラッシュガードを脱が  
せてみると、一目で分か  
る右鎖骨の変形が……。

この後、右上肢の可動  
域制限はありながらも、  
釣りをしたり、プールに  
少しだけ浸かったり、何  
とか予定していたプラン  
を楽しむことができました。  
ちなみに輸液セットは  
出番なく持ち帰りまし  
た。

想定外なことが続くわ  
が家の旅行記、すべらな  
い話として知人には好評  
を頂いています。  
幸いどちらも大事には  
至らず、「いろいろなあつ  
てもその状況下で楽し  
む」ということを家族で  
共有した貴重な経験にな  
りました。とは言え、も  
う病院受診付きの旅行は  
懲り懲りです。来年は行  
き先を慎重に選ぶと思  
います。

ガガーン。私の頭の中  
は、「何で? また? 今  
度は長男? 病院受  
診? 明日からの旅行  
は?」ハテナがぐるぐる  
回っていました。  
今回は夜中ではなく昼間  
のうちに、市街地の整  
形外科クリニックへ向か  
いました。ゴールデンウ  
ィーク真ん中の平日で、  
クリニックはかなり混雑  
していました。しかも次  
男用の輸液セットに気を  
取られて、保険証を忘れ  
る大失態。

レントゲン撮影の結  
果、やはり右鎖骨骨折と  
の診断を頂き、鎖骨バン  
ドをして宿に戻りまし  
た。  
この後、右鎖骨骨折の  
結果、やはり右鎖骨骨折と  
の診断を頂き、鎖骨バン  
ドをして宿に戻りまし  
た。

# 写真家・岩合光昭氏の 初監督映画

## 「ねことじいちゃん」 が完成

日医が読売新聞社と美  
施しているコンテスト  
「生命を見つめるフォト  
&エッセー」のフォト部  
数35万部を超える大人気  
門の審査員である写真家  
の岩合光昭氏が初監督し  
た映画「ねことじいちゃん」  
がこのほど完成し、  
岩合監督にしか撮れない

各地で上映が開始されて  
いる。  
本作品は、累計発行部  
数35万部を超える大人気  
コミック「ねことじい  
ちゃん」(KADOKAWA  
A刊)を実写化したもの。  
A刊を実写化したもの。  
岩合監督にしか撮れない

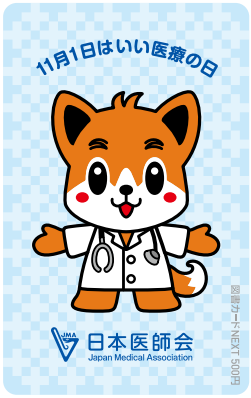


猫達の表情や鳥の美しい  
風景と共に、そこに暮ら  
す人々がユーモラスかつ  
繊細に描き出されてい  
る。  
出演は、主演を務める  
落語家・立川志の輔氏の  
他、柴咲コウ、小林薫、  
田中裕子、柄本佑、銀粉  
蝶の各氏など人気・実力  
を兼ね備えた俳優陣が集  
結。そして、もう一人の  
主人公、猫のタマ役は、  
100匹以上のオーディ  
ションから抜擢された  
「ベーコン」が務め、主  
演の立川氏と息の合った  
演技を見せている。

## 卒業・入学祝いにどうぞ！ 「日医君」図書カード 販売中

日医では新キャラクタ  
ー「日医君」の図書カー  
ドを作成しています。  
今回より日医会員だけ  
でなく、会員の医療機関  
で働く方々や医師会の職  
員等も購入可能となりま  
す。

卒業・入学祝いや各種  
御礼などに、ぜひ活用  
下さい。  
◆販売方法  
◆価格：一枚500円(税  
込)  
◆申込方法：郵便、F A  
Xまたはメールにて、郵  
便番号・住所・氏名・電  
話番号を記入し、購入枚  
数(一人合計10枚以上1  
00枚以下)、種別(フ  
ルーまたはピンク)を明  
記の上、日医広報課宛て  
にお申し込み下さい。  
折り返し、入金方法(銀  
行振込)のご案内をお送  
ります。  
※なお、図書カードの発  
送は、代金の振込(入金  
確認後)となります。  
◆申し込み・問い合わせ  
先：日医広報課  
〒113-8621 東京  
都文京区本駒込2-28-1  
☎03-3942-664  
833(直)、☎03-3942-  
6295(☎kouhou@  
jo.med.or.jp)



### 日本医師・従業員国民年金基金 案内

#### 基金代議員会・理事会を開催 合併に向けた準備状況等を説明

日本医師・従業員国民  
年金基金の平成30年度第  
2回代議員会並びに理事  
会が、2月21日に開催さ  
れた。  
直近の業務状況を報告  
後、本年4月1日の全  
国47都道府県の地域型国  
民年金基金と22の職能型  
国民年金基金の合併に向  
け、「全国国民年金基金  
日本医師・従業員支部」  
の設立準備状況等が説明  
された。

また、税制上の扱いも  
従来どおりなので、未加  
入の方は合併後も引き続  
き、当基金への加入を検  
討頂きたい。

問い合わせは、基金事  
務局(☎0120070  
0650)まで。

合併の主な目的は、(1)  
加入員・受給者の利便性

# 日本医師会裁定委員の補欠選任に関する公示

## 公益社団法人日本医師会 選挙管理委員会

(平成31年3月1日)

日本医師会定款第19条及び第20条第3項の規定に基づき、来る3月31日（日曜）午前9時30分より東京都文京区本駒込2丁目28番16号日本医師会館において、第144回日本医師会臨時代議員会を開催いたしますが、その際、定款第54条の規定により、本会裁定委員の補欠選任を行います（任期は、定款第35条第2項及び同施行細則第50条の規定により、平成31年3月31日より平成31年度に関する定例代議員会終結の時までとなります）。

つきましては、日本医師会会員の中で裁定委員に立候補しようとする者は、定款施行細則第18条、第20条、第22条及び第50条の規定に基づき、別紙様式により公示日から3月21日（木曜）午後5時までの間に、本委員会宛てに届け出るようお願い申し上げます。

### 記

- 立候補しようとする者は、立候補届出書（様式1）並びに候補者経歴表（様式2）を提出して下さい。
- 定款施行細則第24条の規定に基づき、候補者は、氏名、経歴、所信、写真を本会ホームページに掲載するよう申し出ることができます。掲載を希望する候補者は、指定用紙（A4判1枚）をもって、定款施行細則第18条の規定にある期間内に本委員会宛てに申請して下さい。申請された掲載文及び写真は、そのままPDFファイル化し、本会ホームページに掲載いたします。なお、定款施行細則第25条の規定により、掲載文の中で他人の名誉を傷つけ、善良な風俗を害し、その他品位を損なう文言を記載することは厳に禁じられています。また、本申し出がない場合でも、候補者の氏名及び所属都道府県医師会名を本会ホームページに掲載する場合がございますので、ご了承下さい。

今回補欠選任する裁定委員の定数は1名です。なお、裁定委員は定款第56条の規定により、本会の役員及び代議員（予備代議員を含む。）並びに他の医師会の役員及び裁定に関する委員を兼ねることはできません。

### (参 考)

#### 公益社団法人 日本医師会定款（抜粋）

##### 第6章 役員等

###### <役員等の任期>

- 第32条 理事及び監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定例代議員会の終結の時までとする。
- 2 理事又は監事は、法令に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。
- 3 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定例代議員会の終結の時までとする。ただし、その定例代議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

###### <役員等の補欠の選任>

- 第35条 理事又は監事が任期途中で退任し、又は解任されたときは、なるべくすみやかに、補欠の選任を行うものとする。
- 2 前項により選任された理事又は監事の任期は、前任者の残任期間とする。

##### 第9章 裁定委員会

###### <裁定委員の選任>

- 第54条 裁定委員は、本会会員の中から、代議員会において選任する。

###### <裁定委員の任期>

- 第55条 裁定委員の任期は、第32条第1項（役員等の任期）の規定を準用する。
- 2 任期の満了又は辞任により退任した裁定委員は、後任者が選任されるまでは、引き続きその職務を行うものとする。

###### <裁定委員の兼職禁止>

- 第56条 裁定委員は、本会の役員及び代議員（予備代議員を含む。）並びに他の医師会の役員及び裁定に関する委員を兼ねることができない。

#### 公益社団法人 日本医師会定款施行細則（抜粋）

##### 第3章 役員等の選任

###### <選任に関する必要事項の通知>

- 第16条 選挙管理委員会は、役員等の選任にあたっては、あらかじめ、選任に関する必要な事項について、その要旨を都道府県医師会長に通知しなければならない。

###### <選任期日の公示>

- 第17条 選挙管理委員会は、役員等の選任の期

日を、その20日前までに、公示（本会の機関誌へ掲載）しなければならない。

###### <立候補届出>

- 第18条 役員等の候補者となる者とする者は、会員10名以上50名以内の推薦を受けて、その選任の期日の10日前までに、文書で、その旨を選挙管理委員会に届け出なければならない。
- 2 前項の届出は、午前10時から午後5時までの間にしなければならない。

###### <経歴表の添付>

- 第20条 第18条の規定による立候補届出には、経歴表を添付しなければならない。

###### <立候補届出書等の様式>

- 第22条 立候補届出書、経歴表及び候補辞退届出書の様式は、別紙で定める。

###### <ホームページへの掲載>

- 第24条 候補者は、選挙管理委員会に対し、役員等の選任において、候補者の氏名、経歴、所信、写真を、本会ホームページに掲載するよう申し出ることができる。
- 2 前項の場合、候補者は、選挙管理委員会が指定した用紙を用いた掲載文及び写真を添えて、選挙管理委員会の指定する期日までに、文書で選挙管理委員会に申請しなければならない。
- 3 選挙管理委員会は、前項の申請があったときは、掲載文及び写真を、本会ホームページに掲載する。
- 4 第1項の申し出がない場合であっても、選挙管理委員会は、候補者の氏名及び所属都道府県医師会名を、本会ホームページに掲載することができる。
- 5 掲載の順序は、候補者一覧表の記載の順序による。

###### <品位保持>

- 第25条 候補者は、前条第2項の掲載文には、他人の名誉を傷つけ、善良な風俗を害し、その他品位を損なう文言を記載してはならない。

###### <役員等の任期の起算>

- 第40条 役員等の任期の起算は、その選任が行われた時からとする。

##### 第6章 裁定委員の選任

###### <裁定委員の選任>

- 第50条 定款第54条の規定に基づく裁定委員の選任については、役員等の選任に関する規定を準用する。

# プレゼントのお知らせ

「妊婦・小児・腎」への投薬情報から「錠剤・カプセル剤」の粉碎可否情報まで、添付文書だけでは得られない、生きた情報を豊富に掲載した**医薬品情報集『治療薬ハンドブック2019薬剤選択と処方のポイント』**(じほう発行)を10名の方にプレゼントいたします。

なお、当選の発表は書籍の発送をもって代えさせていただきます。

### ◆応募方法

①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤日医のキャラクター「日医君」を使用したグッズとしては、現在、図書カード、ぬいぐるみ、クリアファイル、付箋がありますが、その他で制作を希望されるもの(必須)を明記の上、下記宛先まで、はがきまたはメールにて、ご応募下さい〔平成31年3月15日(金)消印有効〕

### ◆応募・問い合わせ先

日医広報課  
〒113-8621 文京区本駒込2-28-16  
☎03-3942-6483(直) ✉present@po.med.or.jp



日本医師会キャラクター「日医君」

# 書籍紹介



## 「医療的ケア」の必要な子どもたち

内多勝康 著

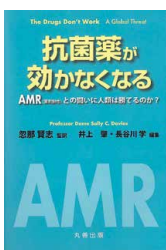


東京の国立成育医療研究センター内に「もみじの家」という施設がある。同施設は、自宅で何らかの医療的ケアを行っている子ども達とその家族をサポートする医療型短期入所施設で、平成28年4

月に開設されたものである。

医療が高度化したことにより、多くの子ども達が救命できるようなった反面、何らかの医療を自宅で継続しなければならぬ子どもも増えており、このような施設の果たす役割は今後ますます高まると思われる。

本書は、30年間NHKアナウンサーを務めた著者が、同施設のハウスマネージャーに転身した経緯や、全く新しい環境で悪戦苦闘したこと、依然としてほとんど知られて



## 抗菌薬が効かなくなる

忽那賢志 監訳

本書は、英国保健省主

の著作『The Drugs Don't Work - A Global Threat』を日本語訳したものである。

現在耐性菌による死者は毎年70万人、このまま放置すれば、2050年までに耐性菌による死者は1000万人になり、がんによる死者を上回る

いない医療的ケアを巡るさまざまな課題を記したものとされている。医療的ケアとはどういうものなのか、その現実と問題点を考えていく上でも貴重な本である。

定価 2376円(税込) 発売 ミネルヴァ書房

## ヴォイス・ケア・ブック

竹田数章 監訳



本書の著者がファイナルド・デイヴィス、アンソニー・ヤーンはそれぞれ、イギリスのロイヤル・オペラ、アメリカのメトロポリタン歌劇場のヴォイスドクターである。

本書の原題は「Care of the Professional Voice」であり、職業歌手の医学的管理、薬と声、手術と歌手、ポピュラー音楽の

発声、芸術家気質、舞台に立つ前の注意、年齢と声、声に影響を与える身体の病気を全15章で構成されている。

それぞれ章ごとに話が完結しており、興味のある章から読むこともできるようなっている。

声を酷使する職業の患者にむき合う、耳鼻咽喉科医を始めとした各科の医師はもろろんのこと、歌手や役者など、声をな

日本では立ち遅れていると言われる芸能医学の理解と発展のための一助となることを期待される一冊と言える。

定価 3456円(税込) 発行 音楽之友社

## ホルモンのしくみ

赤水尚史 著



ホルモンの発見や内分泌

泌の概念は19世紀後半から始まった比較的新しい領域と言えるが、その後

されるホルモンが全身のあらゆる臓器に作用することで生じる疾患について、分かりやすく解説した学術書はそれほど多くなく、有益な書と言える。

定価 3024円(税込) 発行 メディカルレビュー社

## 嘱託産業医スタートアップマニュアル

勝木美佐子 著



本書は、これから嘱託産業医を始めた人のためのノウハウを分かりやすくまとめた実務マニュアルである。

「どうやって仕事を見

つけたらいいのか」といった疑問に答え、産業医に必要なソーシャルスキル、健康診断、長時間労働者への面接指導、職場巡視、メンタルヘルス面

談、身体疾患の取り扱いなど各種業務の流れとチェックポイント、報告書や意見書の書き方を解説している。

巻末のパスワードで産業医の業務に必要な書式のひな形もダウンロードできる。

定価 4104円(税込) 発行 日本医事新報社

# 採用時に使える医師の身分証

—「医師の証明ができます」—

医師採用時、医師資格証(HPKIカード)を、医師免許証の代わりとすることができます。詳しくは、日医電子認証センターホームページの2017年12月22日付News欄をご覧ください。



詳しくはホームページをご覧ください。

日本医師会 電子認証センター 検索

日本医師会 電子認証センター